

災害統計グローバルセンター(GCDS)定例会議～Global Centre for Disaster Statistics (GCDS) Periodical Joint Meeting～を開催しました(2018/11/13)

テーマ：災害統計の整備、国際連携
場所： 災害科学国際研究所 2階 演習室

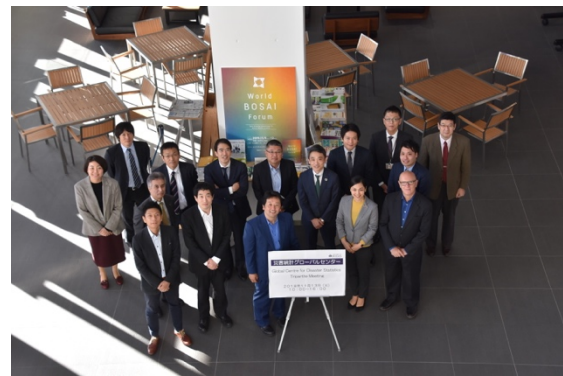
2018年11月13日(火)、災害統計グローバルセンター(GCDS)では定例会議(参加主体：東北大学災害科学国際研究所、国連開発計画(UNDP)、国際協力機構(JICA)、富士通株式会社、パシフィックコンサルタンツ株式会社)が開催されました。当研究所からは、情報管理・社会連携部門の小野裕一 教授、佐々木大輔 助教、田中秀実 研究員、高阪加奈代 研究員、人間・社会対応研究部門の奥村誠 教授、災害リスク研究部門のサッパシー・アナワット 准教授が出席しました。

今回の会議では、現在進行中のパイロット国7か国(インドネシア、カンボジア、スリランカ、ネパール、フィリピン、ミャンマー、モルディブ)におけるフィールド調査の進捗等につき報告がなされるとともに、今後の展開について活発な議論が行われました。

災害統計グローバルセンター(GCDS)では、引き続き UNDP や JICA、富士通株式会社やパシフィックコンサルタンツ株式会社をはじめとする民間企業等との連携を密に取り、世界の災害統計の発展と防災力向上に向けて、学際的・分野横断的に研究・活動を進めていきます。



会合の様子



出席者による集合写真

文責：佐々木大輔(情報管理・社会連携部門)